＜武蔵野市・ラボック市ジュニア交流団協定書＞

武蔵野市とラボック市は、１９８６年からジュニア交流団の相互派遣を実施してきた。
両市はこの交流を通して、お互いに学びあい、尊敬しあい良好な関係を築いてきた。
２１世紀の初頭にあたり、武蔵野市長とラボック市議会は、中学生同士の相互交流事業の公式な協定を締結することを希望する。

１．武蔵野市とラボック市の中学生相互交流事業の目的は、中学生の相互交流を通じて国際的な友好、理解、教育の国際的な発展を促進することにある

２．中学生の相互交流によって期待される成果は、市レベルにおける国際交流の拡大、意見交換の促進、文化理解を推進することにある

３．これまでに、ジュニア大使に参加した人達は、両市間の友好・協力を強化し、地域社会における関係が継続し発展することを望んでいる

４．両市の市長並びに市議会議員は、両市が直面する重要な課題に対して相互に意見の交換を行う

５．武蔵野市とラボック市の相互理解と友好関係の推進は双方にとって重要である

ここに武蔵野市長とラボック市議会は双方の自治体がこの有益な交流プログラムの継続を確かなものにするためにジュニア交流プログラムを公式に認定する。

平成１３年６月１０日

武蔵野市長　土屋　正忠　　ラ ボ ッ ク 市 長　ウィンディ　シットン
ラボック市議会議員　マーク　マクドゥーガル